

質問項目一覧表

令和5年9月22日（金）

質問 順位	議員名 (会派名) 開始予定時刻	質問 区分	質問項目
1	井下 泰憲 (徳島県議会 自由民主党) 午前10時00分 開始予定	一般 質問 (60分 以内)	1 子育て支援施策の推進について 2 警察職員の採用方策について 3 県立病院における「医師の働き方改革」への対応 について 4 林業における人材の確保対策について 5 新ホールの整備について
2	古野 司 (徳島県議会 自由民主党) 午前11時20分 開始予定	一般 質問 (60分 以内)	1 ふるさと納税の取組について 2 那賀町の医療提供体制について 3 多様な林業事業体の育成について 4 花粉症対策への森林環境譲与税の活用について 5 「阿波晩茶」について 6 防災情報の効果的な発信について 7 国道195号「白瀬トンネル（仮称）」について
3	古川 広志 (公明党 徳島県議団) 午後1時30分 開始予定	一般 質問 (60分 以内)	1 現場主義・県民目線の推進について 2 特別交付税算定方法の見直しについて 3 総合計画における事業の重点化について 4 県の魅力度・認知度アップの取組について 5 アリーナによる誘客について 6 地球温暖化対策・脱炭素の取組最大化について 7 新たな少子化対策の模索について
4	岡田 晋 (元気とくしま) 午後2時50分 開始予定	一般 質問 (60分 以内)	1 徳島病院について 2 飯尾川の浸水対策について 3 校則の見直しについて 4 駅へのトイレ設置について 5 指定管理について 6 道路・河川の維持修繕について 7 都市計画区域・農業振興地域について 8 農業新技術の普及について

※ 開始予定時刻、質問項目及び質問項目の順序は予定であるため変更となる場合があります。

質問要旨（井下泰憲議員）

令和5年9月22日（金）

登壇順位① 2 3 4

項目	内容
1 子育て支援施策の推進について	新たな基金創設の見通しと、基金を活用した本県独自のこども施策の展開について、所見を伺いたい。
2 警察職員の採用方策について	社会の変化に適応し、県民の期待と信頼に応えるため、将来の警察組織を担うにふさわしい人材の確保に向け、どのように取り組んでいくのか。
3 県立病院における「医師の働き方改革」への対応について	今後、県立病院では、県民医療を守るため、「医師の働き方改革」にどのように対応していくのか、所見を伺いたい。
4 林業における人材の確保対策について	国土強靱化や環境保全面等の機能維持・増進の観点も含めた、持続可能な林業を達成するために必要な人材確保対策について、どのように進めていくのか、所見を伺いたい。
5 新ホールの整備について	<p>（1）「コスト」「スピード」「機能」面からみて、現計画で早く進めるべきと考えるが、昨日の代表質問の議論を踏まえて、あらためて知事の認識を伺いたい。</p> <p>（2）これまでどのような国の補助メニューを想定しながら進めてきたのか、また、他県の同規模のホール整備の費用を踏まえて、現計画は極端に膨大な事業費と言えるのか。</p> <p>（3）公立の施設が果たすべき役割・目的をどのように考えているのか。</p> <p>（4）知事の「小ホールは市で」という発言には、どのような意図があり、設計を変更し「スピード」「機能」を下げ、「コスト」を上げてでも、県ではなく市に整備させる意味を伺いたい。</p> <p>（5）知事にとって良いレガシーとは「1500席・小ホールは市」という認識でよいのか。また県市協調の協議もふまえて、11月に示すということだが、この短期間でどのように取りまとめていくのか。</p> <p>（6）アンケートにあるような「高い」「安い」が、新ホール整備における一番の争点だとの認識でよいか。</p> <p>（7）知事は現ホールの計画における音響が悪いという認識なのか、そうであるなら、どこがどのように悪いのか教えていただきたい。</p>

※ この質問要旨は、9月21日16時にとりまとめたものです。

質問要旨（古野司議員）

令和5年9月22日（金）

登壇順位 1 ② 3 4

項目		内容
1	ふるさと納税の取組について	ふるさと納税の拡大に向けて、市町村と連携しながら、どのように取り組んでいくのか、所見を伺いたい。
2	那賀町の医療提供体制について	那賀町の医療提供体制の安定的な確保に向けて、県は医師や看護師等の確保対策にどのように取り組んでいくのか。
3	多様な林業事業体の育成について	林業の成長産業化に向けては、起業による参入を促し、多様な事業体が活躍することが有効であると考えているが、所見を伺いたい。
4	花粉症対策への森林環境譲与税の活用について	政府が打ち出した花粉症対策を進めていくには、森林環境譲与税の活用が重要であると考えているが、市町村と連携した取組について伺いたい。
5	「阿波晩茶」について	今後、県においては、「阿波晩茶」を産業として振興するために、どのような対応が必要と考えているのか、所見を伺いたい。
6	防災情報の効果的な発信について	県民の皆様に向けて、「速報」及び「全般」の両機能を向上させ、防災情報をより一層効果的に発信する体制を構築すべきと考えるが、所見を伺いたい。
7	国道195号「白瀬トンネル（仮称）」について	国道195号「白瀬トンネル（仮称）」の進捗状況について、伺いたい。

※ この質問要旨は、9月21日16時にとりまとめたものです。

質問要旨（古川広志議員）

令和5年9月22日（金）

登壇順位 1 2 ③ 4

項目	内容
1 現場主義・県民目線の推進について	現場主義・県民目線については前知事も職員に指示し、様々な取組も行ったが、その徹底は簡単なものでない。県民の思いを汲み上げるために、まずは、これまでの取組を検証した上で、具体的な方策も必要と考えるが、所見を伺いたい。
2 特別交付税算定方法の見直しについて	政治的な思惑でなく県の施策を進める視点で、特別交付税の算定方法について見直しを検討すべきと考えるが、所見を伺いたい。
3 総合計画における事業の重点化について	新たな県政運営の指針となる総合計画について、事業の追跡調査を実施し、その結果をもとにPDCAサイクルを回してブラッシュアップしていくべきと考えるが、所見を伺いたい。
4 県の魅力度・認知度アップの取組について	<p>（1）徳島の魅力度・認知度を向上させるためには、情報発信の拠点である首都圏において行われる、阿波おどりを最大限活用した取組が有効と考えるが、所見を伺いたい。</p> <p>（2）本場徳島の阿波おどりを実際に体感してもらうことが、魅力度アップには重要であり、そのためには、期間中における宿泊場所の確保が課題と考えるが、所見を伺いたい。</p>
5 アリーナによる誘客について	アリーナの開設をどのように考えているのか、特に財源をどうする考えなのか、所見を伺いたい。
6 地球温暖化対策・脱炭素の取組最大化について	<p>（1）今回、「県版・骨太方針」で示された脱炭素施策について、迅速かつ最大規模で推進すべきと考えるが、所見を伺いたい。</p> <p>（2）環境省が推進する「脱炭素先行地域」の取組について、本県でも是非、推進すべきと考えるが、所見を伺いたい。</p>
7 新たな少子化対策の模索について	少子化の流れを転換するためには、子育て支援を軸としすぎる対策から未婚化・晩婚化に対する施策の拡充にシフトしなければならないと考えるが、所見を伺いたい。

※ この質問要旨は、9月21日16時にとりまとめたものです。

質問要旨（岡田晋議員）

令和5年9月22日（金）

登壇順位 1 2 3 ④

項目	内容
1 徳島病院について	徳島病院の存続は県民の総意であり、県議会をはじめ県内の地方6団体において国等に要望を行い、現在、移転統合計画はストップしている。今後、病院の存続に向けた知事の所見を伺いたい。
2 飯尾川の浸水対策について	長年、流域の住民が浸水被害に苦しんでいる県管理の一級河川「飯尾川」の改修を積極的に推進していくために、今後、どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺いたい。
3 校則の見直しについて	校則の見直しを生徒が中心となって生徒の意見を反映した校則へと変更を行う仕組みづくりと定期的な見直しを県教委としてどのように取り組むのか。市町村教育委員会とどのように連携を取っていくのか伺いたい。
4 駅へのトイレ設置について	近年、県内JRの各駅でトイレが廃止されている。県立学校の生徒が通学手段として利用する駅には、県が主体となってトイレを設置してはどうかと考えるが、所見を伺いたい。
5 指定管理について	地方自治法の改正により指定管理者制度の導入が進められたが、地方公共団体を取り巻く環境は大きく変わってきており、人的活用を促す観点からも、直営に戻すのが適当な施設もあると考えるが、所見を伺いたい。
6 道路・河川の維持修繕について	県民生活に密着した県管理の道路・河川の維持修繕について、予算がないとの理由で放置し、管理状態の悪い箇所が県内各地で見受けられるが、県予算の使い道としては、維持修繕対策を最優先するよう、予算を確保していくべきと考えるが、所見を伺いたい。
7 都市計画区域・農業振興地域について	国の各省の事業区域を定めるため、それぞれ省により同じ自治体に二重の法規制がなされている。地域によっては発展が阻害されており、区域の見直しを県が主導して行うべきと考えるが、所見を伺いたい。
8 農業新技術の普及について	徳島は第一次産業に支えられており、特に農業が栄えないと県全体の活気が失われ、自然の豊かさも感じられなくなり、他産業にも影響が及ぶ。生産現場への新技術の更なる普及に、今後どのように取り組んでいくのか。

※ この質問要旨は、9月21日16時にとりまとめたものです。